



稽古に参加して朝乃山関(右)を押す菊田さん(左)

6月8・9日、大宝八幡宮で2001年から続く高砂部屋恒例の合宿が行われました。今年の合宿は、夏場所で令和初の優勝を飾りランプ大統領からアメリカ大統領杯を授与され一躍時の人となった朝乃山関に注目が集まる中、迫力のある稽古を見せていました。

8日の稽古には、笠間市から菊田流雅さん(小6)も特別参加して朝乃山関の胸を借りていました。稽古後は大宝保育園年長の10人が力士と触れ合う姿に会場を訪れた見物客から拍手が送られていました。

令和初の優勝力士 朝乃山関に注目集まる
大宝八幡宮高砂部屋合宿 6月8・9日



馬上から矢を放つ射手

大宝八幡宮で「流鏝馬神事」が行われ、古式ゆかしい狩り装束に身を包んだ4人の射手が駆け抜ける馬の背中にまたがりながら「いんよー(陰陽)」のかけ声とともに2カ所の的を射る姿に会場から大きな歓声と拍手が上がりました。

つくば市から訪れた70代男性からは「初めて来たが、間近で見ると迫力がすごい。来年も見に来たいと思う」と話が聞けました。

境内のあじさい神苑では「あじさい祭り」が開かれ、観光客は約300種4,000株の鮮やかなあじさいを眺めながら、抹茶のおもてなしや草花の無料抽選会を楽しんでいました。

迫力ある「流鏝馬」とあじさいを楽しむ
流鏝馬神事・あじさい祭り 6月23日

大宝小学校体育館で国技の相撲を通じて礼儀作法を子どもたちが学ぶことを目的に下妻青年会議所が主催する「わんぱく相撲下妻場所」が開催されました。下妻市・八千代町近隣を中心に約100人の小学生力士の参加があり、9回目の開催となる今年は、雨天のため屋内用土俵で相撲が行われました。

各取組が行われると、呼び出しを受けた子ども力士たちは徳俵の前に立ち礼をしてから真剣な表情で熱戦を繰り広げ、応援に駆け付けた保護者たちなどから熱い声援が送られていました。



力いっぱい相撲を取る小学生(大宝小学校体育館)

まわし姿で奮闘、小学生が熱戦
第9回わんぱく相撲下妻場所 6月15日

6月9日、「しもつま生鮮軽トラ市」がWaiwaiドームしもつままで開催され、新鮮で格安の野菜などをもとめ買い物客などが会場を訪れました。

軽トラ市は、今年から会場をWaiwaiドームしもつまに移し、しもつま生鮮軽トラ市実行委員会が7月、9月、11月の第2日曜日に9時から11時まで同会場で開催する予定です。来場者は、先着200人に1パック100円の卵や大津港(北茨城市)から届く干物などの水産加工品に列を作っていました。



Waiwaiドームで新鮮野菜を買う来場者

軽トラ市Waiwaiドームで再開
しもつま生鮮軽トラ市 6月9日



さつまいもの苗を植える参加者

鬼怒フラワーライン(鬼怒川大形橋上流左岸河川敷)で花と一万人の会が主催する「さつまいも定植大会」が開催されました。イベントには花万ジュニアスタッフや青龍楽校少年団、地域住民など約100人が参加し、花畑の一部に約1,200本のさつまいもの苗を植えました。

育ったさつまいもは、10月に行われるポピーの種まきの際に掘り起こして試食します。

昨年イベントに参加している大形小学校5年生の飯塚美羽さんは「今年もおいしいさつまいもが食べられるように一生懸命植えました」と話してくれました。

秋の収穫を楽しみに
さつまいも定植大会 6月9日



茶会を楽しみながら、お茶の説明に聞き入る参加者

砂沼広域公園・観桜苑の砂沼庵で6月9日、市茶道連盟香水出会が主催する「あやめ茶会」が開催されました。茶会には市内外から196人が参加し、作法や服装を気にせず、本格的な抹茶と鮎や波紋をあしらった季節の和菓子を堪能しました。

参加した市内宗道在住・60代女性は「茶会は雰囲気も良く、非日常的な時間を過ごすことができました。また、お茶の器やお菓子は季節感があり、目でも楽しませてもらいました」と話してくれました。

非日常を楽しむ
あやめ茶会 6月9日



威勢よく担ぐ氏子ら

6月16日、宗道神社の神輿が完成100年を迎えたことを記念して、同神社周辺で「宗道神輿生誕100周年祭」が行われ、神輿渡御が行われました。神輿渡御は、同神社の氏子らで組織する宗道神社愛神會のほか、本宗道宗任會、原北友進會、皆葉祭神會の会員らによって神輿が担がれ、威勢よく神社周辺を練り歩いていました。

宗道神社神輿は1919年6月15日に現在の東京都江東区で新調され、舟で宗道河岸まで運ばれ、1985年には、つくば科学博でも披露されました。神輿は、地域の誇りとして、氏子らによって先人たちの思いを引き継ぎながら生誕100年を迎えています。

先人の思い継ぐ100年神輿
宗道神輿生誕100周年祭 6月16日



盛り上がる神輿渡御

有料広告欄

有料広告欄